



武陽食品株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル
Tel. 03-3211-4831 Fax. 03-3211-6004

『武陽月報』は、武陽食品株式会社と株式会社J-オイルミルズが、酪農家・肉牛農家の皆様に役立つ情報をお届けするニュースレターです。

2020年度生乳生産量前年を上回る 農水省

農林水産省は、2020年度の全国の生乳生産量は、743万3,328トン（前年比101.0%）と前年を上回ったと発表した。地域別に見ると、北海道は415万8,475トン（同101.6%）、都府県も327万4,853トン（同100.1%）と、いずれも前年を上回った。全国の生乳生産量が、前年を上回るのは2年連続となった。生乳処理量を用途別に見ると、牛乳等向けは403万4,128トン（前年比100.9%）となった。うち業務用向けは29万7,226トン（前年比87.5%）と大幅に減少した。乳製品向けは335万4,678トン（前年比101.0%）と前年を上回った。

牛乳・乳製品工場4工場減 ALIC

独立行政法人農畜産振興機構(ALIC)の調査によると、2020年12月31日時点の牛乳処理場および乳製品工場は559工場（前年比4工場減）となった。区分別に見ると、生乳を処理した工場のうち、牛乳処理場は361工場（同7工場減）、乳製品工場は138工場（同1工場減）となり、また生乳を処理しない工場は60工場（同4工場増）となった。

一方、これを製品の種類別に見ると、飲用牛乳等の製造工場は358工場（同8工場減）と減少傾向が続く中で、乳製品製造工場は327工場（同5工場増）と増加している。乳製品製造工場のうち、バター製造工場は73工場（同3工場増）と増加した。また、チーズの製造工場についても182工場（同5工場増）と増加傾向が続いているが、これは直接消費用ナチュラルチ

ーズの製造工場の増加によるものである。これらは、いずれも需要の増加が背景にあるとみられる。

また、生産能力について見ると、飲用牛乳等が毎時2864キロリットル（同2.7%減）と低下した一方、はっ酵乳は毎時731キロリットル（同0.8%増）と上昇した。乳製品は、バター（連続式）が毎時60トン（同9.1%増）、チーズ（連続式）毎時62トン（同3.3%増）、れん乳が毎時79トン（同2.6%増）といずれも上昇した一方、粉乳は毎時96トン（同5.0%減）とやや低下した。

以上のことから、バターおよびチーズについては、製造工場数および生産能力ともに増加し、総生産能力が拡大する一方、いずれの指標も減少している飲用牛乳等については、総生産能力が縮小していることが見て取れるとしている。

2020年度バター輸入139.8%増 ALIC

独立行政法人農畜産振興機構(ALIC)の調査によると、2020年度に一般輸入されたバターの数量は、506トン（前年度比139.8%増）と前年度を大幅に上回った。月別にも、すべての月で2016度～2020年度の5カ年平均を上回って推移した。特に1月は76トンと、前年同月の4倍となる高水準を記録した。輸入増の背景には、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響が長期化し、外食頻度が減少する中、家庭内で消費する食料品の一部についての高価格志向、いわゆる「プチゼいたく」による消費行動の一つとして、ヨーロッパ産をはじめとする外国産高級バター需要が増加していることなどがあるとみられるとしている。

飼料のご用命は

武陽食品株式会社

飼料部宮城営業所 飼料部福島営業所

東北第一営業所山形出張所 担当